



2017年度「連帯社会」連続講座

主催：公益財団法人 日本労働文化財団
連帯社会研究交流センター

参加費無料
要申込
先着 30 名

「連帯社会研究交流センター」は、連合、日本労働文化財団、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、「連帯社会」に関わる研究者の方々の問題提起をいただき連続講座を企画いたしました。第1回は、坂本安子氏をお招きして、アメリカのNPOにおける社会福祉活動について、ご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、会場整理の都合により参加者は先着 30 名様までとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。参加申し込み方法につきましては、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行なう方法をとらせていただきますので、「イベント・シンポジウム」<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

第1回：アメリカのNPOにおける社会福祉活動

日時 2017年10月14日（土）14：30～16：30（14:00開場）

場所 法政大学大学院棟 4階 401 教室 （変更になりました。ご注意ください）

講師：坂本 安子 氏

元リトル東京サービスセンター
社会サービス部ディレクター

坂本安子（さかもとやすこ）氏のプロフィール

福島県いわき市生まれ。明治学院大学社会学部福祉学科卒業後、カウンセラー勤務を経て、1976年に渡米。1983年、カリフォルニア大学ロサンゼルス校社会福祉学科で修士号を取得。1980年にリトル東京サービスセンターの立ち上げに参加し、社会サービス部ディレクターとして、その発展に寄与した。日系人・日本人並びにアジア太平洋系地域社会のウェルネスを促進のため、ロサンゼルス他の団体と協力をしてアドボカシー運動をする。2016年6月同センター退職に際しては、約40年にわたるロサンゼルス在住日本人の社会福祉への貢献が評価され、ロサンゼルス総領事表彰を受けた。去る3月に将来を担うソーシャルワーカーのリーダーシップとメンターシップをモットーに「さかもと塾」を創設。



プログラム

* 来聴歓迎 *

14：30～16：00 講演
16：00～16：30 質疑応答

<会場案内図>



～お問い合わせ～

連帯社会研究交流センター（ReCSS）
e-mail: info@recss.jp
URL: <http://recss.jp>

東京メトロ南北線/有楽町線「市谷駅」

5番出口下車徒歩3分